



平成28年4月18日

各位

PCIソリューションズ株式会社
代表取締役社長 天野豊美

神戸市 市バスを情報通信基地とする実証実験
～次なるステップへ～

当社が、実証事業主体として参画しております「市バスを情報通信基地とする実証実験」につき、平成28年4月18日に神戸市より発表がありましたのでお知らせいたします。

当社は、同実験で使用される「V2Xユニット」を活用したソフトウェア開発に携わっております。詳細につきましては、同市提供記者資料「市バスを情報通信基地とする実証実験の展開～パソコン・スマートフォンで市バスの運行情報が確認できます～」をご覧ください。

当社は、「安心・安全・豊かな社会」の実現に向け、各種研究開発、エンベデッドシステム開発の豊かな実績で培ったIoT技術の応用により、新たなサービス領域へ積極的に挑戦します。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

PCIソリューションズ株式会社 営業本部 新規事業推進部 (pmo@pci-sol.com)

記者資料提供（平成 28 年 4 月 18 日）

神戸市交通局自動車部市バス運輸サービス課 大岩根・田中

TEL : 078-322-5944（内線 6061） FAX : 078-322-6186

市バスを情報通信基地とする実証実験の展開

～パソコン・スマートフォンで市バスの運行情報が確認できます～

1. 趣旨

神戸市では平成 28 年 2 月から、情報通信基地としての市バスの活用に関する実証実験の第一段階として、バスロケーションシステム実証実験を行ってきました。

このたび、実験の次なるステップとして、市バス 66 系統（貿易センター～しあわせの村）について、市民の皆様にはバスが実際にどこを走っているのか、皆様のパソコンやスマートフォンでご確認していただけるシステムの準備が整いましたので、下記の通りページを公開いたします。ぜひご利用ください。

○バスロケーションシステム URL : http://hbloc.its-mo.com/kobe_usersite/index.php

QR コード :



また、神戸市バスのホームページにも紹介ページを設けておりますので、インターネットで「神戸市バス」と検索いただき、そこからご覧いただくことも可能です。



※画像はイメージです

2. バスロケーションシステム実証実験概要

(1) 実証事業主体

- ・神戸市 ・一般社団法人 Gateway APP Japan
- ・本田技研工業株式会社 ・株式会社ゼンリンデータコム
- ・PCI ソリューションズ株式会社 ・ソフトバンク株式会社

(2) 実施期間 : 平成 28 年 5 月末まで（予定）

(3) 実施路線 : 市バス 66 系統（貿易センター～しあわせの村）で実施
（計 28 台の車両へ機器を設置）

(4) 実験内容 : ①一般社団法人 Gateway APP Japan より提供された車載器を市バスに搭載、バスの位置情報を収集し、パソコン・スマートフォンの画面（右上にイメージ図掲載）で利用者へ発信する。

②リアルタイムの市バス運行情報のオープンデータ化を検討する。

3. 今後の予定

実証実験の結果を基に、平成 28 年度中の本格導入について検討する。

また、実証実験の第二段階として、市バス車両数台にデジタルサイネージ・車外カメラを設置し、利用者・市民への更なる情報発信の可能性について実証実験を行う。

○オープンデータについてのお問い合わせは下記まで

神戸市企画調整局創造都市推進部 松崎・中川

TEL : 078-322-6462 (内線 2366) FAX : 078-322-6051